

科 目 名	現代の国語	単 位 数	2 単位	学 科 ・ 学 年	全 科	1 年
使用教科書	高等学校 新編 現代の国語	東京書籍	副 教 材 等	伝える伝わるワーク (高知県教育委員会)		
学 習 目 標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ①知識及び技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ②思考力、判断力、表現力等 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ③学びに向かう力 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					
学 習 評 価	○ 次の三つの観点に基づき、学習内容のまとまり（定期考査までを学習のひとまとまり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。					
	① 知識・技能	【言葉の特徴や使い方に関する事項】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を習得すること。 【情報の扱い方に関する事項】 主張と論拠など情報と情報との関係や個別の情報と一般化された情報との関係を理解し、推論の仕方を身に付けること。				
	② 思考・判断・表現	A 話すこと・聞くこと 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価すること。 B 書くこと 論理的な文章や実用的な文章を読み、本文や資料を引用しながら、自分の意見や考えを論述すること。 C 読むこと 文章の内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。				
	③ 主体的に学習に取り組む態度	国語に対する自覚や関心を高め、話したり聞いたり書いたり読んだりすることで言語能力を向上させ、生涯にわたりその能力の向上を図る態度を育成すること。そして、国語を愛護し、国語を尊重して、国語そのものを一層優れたものに向上させていこうとする意識や態度を育てること。				
	評価方法\観点	①	②	③		
	学習状況の観察	○	○	◎	自己評価も含む	
	発表	◎	◎	○	発表、相互評価を含む	
提出物	○	○	○	授業プリント・感想文・報告文		
小テスト	○	○	○	小テスト（文法・語句・漢字など）		
定期考査	◎	◎		年間5回		
	※表中の◎は観点の中でより重視するところです。					
履 修 上 注 意	この科目は高校国語分野の基礎となるものです。積極的に学ぶ態度をもって授業などに取り組み、予習復習をすることによって力を定着させましょう。日頃から積極的に読書をして、夏休みには読書感想文コンクール等にも応募しましょう。その他、不明な点はいつでも気軽に尋ねてください。					

学期	月	学 習 内 容	時 数	学 習 の ね ら い	学 習 活 動 (評 価 方 法)
1	4	読む 「木を見る、森を見る」	2	・タイトルや具体例に注意して主張を捉え、物事を多様な視点から見る姿勢を養う。	・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・文章の組み立てを理解している。
		読む 「水の東西」	2	・評論の型を理解し、評論の読み方を知る。 ・日本文化の特質について理解を深める。	・文章の効果的な組み立て方を理解している。 ・比喻・例示・言い換えなどの修辞について理解している。
	5	話す・聞く 「本を紹介する」 「図書館の利用法」	3	・話の構成や、紹介の仕方を工夫して話す。 ・図書館の利用法を学び、適切に利用できるようにする。	・正確で分かりやすい表現や言葉遣いを理解して使っている。 ・読書の意義について理解を深めている。
		書く 「手順を整理して正確に伝える」	4	・情報をわかりやすく整理し、表現を検討して手順書を書く。	・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・積極的に手順書の特徴を理解し、情報を正確に伝えられるようにしている。
	6	読む 「『身銭』を切るコミュニケーション	2	・筆者独自の表現に注意して読み、コミュニケーションの在り方について考える。	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。
		話す・聞く 「発想を広げて課題を見つける」 「探究学習へのアプローチ」	3	・発想を広げてアイデアを整理し、的確に伝える。 ・探究学習の概要を理解する。	・目的や立場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して伝え合う内容を検討している。
	7	読む 「広告の形而上学」	2	・比喻に注意して広告の奇妙さについて書かれた評論を読み、現代社会の特質について考える。	・筆者の考える広告について理解を深め、広告についての考察を、自分の言葉で表現しようとしている。
		書く 「新聞記事をもとに問いを作り、意見をまとめる」	6	・読んだ文章から問いを作り、構成を工夫して意見をまとめる。	・引用の仕方や出店の示し方について理解をして使っている。 ・情報の収集や整理をし、自分の意見を文章でまとめて、グループ内で話し合おうとしている。
2	9	話す・聞く 「メディアを適切に使い分けながら、情報を収集する」	4	・情報を集めて整理し、考えを深める。	・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。
		読む 「時間と自由の関係について」	2	・筆者の主張を的確に読み取り、その内容を要約する。	・人間の自由と時間について、筆者の主張に対する自分の考えをまとめようとしている。
	10	書く 「調べた情報を説明資料にまとめる」	4	・情報の信頼性を吟味し、伝える相手や目的に応じてまとめる。	・学習課題に沿って、伝える相手や目的を意識した説明資料を作成する活動をしようとしている。
		読む 「映像文化の変貌」	2	・映像文化について書かれた評論を、叙述に即して的確に読み取る。	・実社会で必要な語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにしている。
	11	読む 「真の自立とは」	2	・自分の考えを持ち、視野を広げる。	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。
		書く 「異なる主張の文章を読み比べて自分の意見を書く」	8	・読み比べて考えを明確にし、伝わりやすい構成で書く。	・積極的にテーマに沿った本を探し、異なる主張の文章を読み比べ、自分の考えを読み手に伝えようとしている。
		話す・聞く 「情報を整理しながら話し合う」	4	・話し合いの進め方を工夫し、考えを深める。	・状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。
3	1	書く 「論証してレポートを書く」 「引用の方法」	8	・論点を整理して論証し、レポートを書く。 ・引用の方法を学び、適切に引用できるようにする。	・進んでテーマに関することを調べて、論点を整理し論証を行ってレポートを書こうとしている。 ・適切な引用ができています。
		読む 「暇と退屈の倫理学」	2	・引用と主張の関係に注意して読み取る。	・学習課題に沿って実社会における生き方について筆者の主張を理解しようとしている。
	2	読む 「時代のデモクラシー」	2	・現代社会の課題を理解し、視野を広げる。	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉えている。
		話す・聞く 「探究したことを発信する」	6	・発表の仕方や、話の聞き方を工夫する。	・聞き手が理解しやすいように発表し、他のグループの発表もしっかり聞いて理解を深めている。
		読む 「鳥の眼と虫の眼」	2	・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。	・今までの学習を生かして、筆者の意図を読み取ろうとしている。